

安全対策を徹底

三郷一丁目商業施設で イチケンの長谷川社長

イチケンの長谷川博之社長は3日、埼玉県三郷市で同社が施工を進めている「(仮称)三郷市三郷一丁目計画」と隣接する「(仮称)三郷市三郷一丁目商業施設計画新築工事」の両現場を訪れ、安全パトロールを行った。写真。

三郷一丁目計画は15階建てのマンションの施工现场となる。長谷川社長は、堀井和人所長らとともに

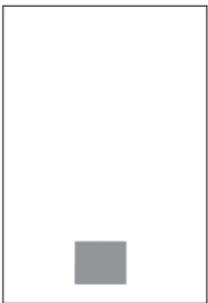


に躯体工事や仕上げ工事が進む現場の安全衛生対策などを巡視した。隣接する商業施設計画新築工事の基礎工事中の現場についても、土留の状況などを確認した。

パトロール後、長谷川社長は「作業終了後の安全設備復旧などを改めて徹底するように指示した。今後は気温の高い日が一層増えるので、ウォータークーラー設置やこまめな水分補給、休憩などを心掛け、安全第一で工事を進めてほしい」と話した。

三郷一丁目計画は、RC造15階建て延べ1万7343平方メートルの共同住宅を整備する。工期は2024年7月30日まで。建築主は三菱地所レジデンス。設計は安宅設計、施工はイチケンが担当している。所在地は同市三郷1-3-6ほか。

同商業施設計画は、S造塔屋1層延べ1万4256平方メートルの複合商業施設を建設する。建築主は三菱地所、設計・施工はイチケンが担当。工期は24年5月31日まで。所在地は同1-3-1。



熱中症対策を呼び掛け

イチケンの長谷川社長
現場安全パトロール

イチケンの長谷川博之社長は3日、マンションと複合商業施設を新築している埼玉県三郷市三郷1の二つの現場で安全パトロールを行い、施工状況や安全対策を確認した。写真手前。

パトロール後、長谷川社長は「落下防止ネットなどの安全設備を一時的に外した場合、作業後の復旧を



忘れないようにしよう。風通しが悪い場所もあり、（熱中症対策のため）作業員には「こまめな休憩と水分補給を促してほしい」と話し、現場で一体となって安全対策を徹底するように呼び掛けた。

両現場は隣接。マンションの工事名は「(仮称)三郷市一丁目計画」。RC造15階建て延べ1万7343・22平方メートルの規模で196戸を新築する。三菱地所レジデンスが発注し、安宅設計とイチケンが設計した。2022年5月2日～24年7月30日。複合商業施設の工事名は「(仮称)三郷市三郷1丁目商業施設計画新築工事」。S造3階建て塔屋1階延べ7305・31平方メートルの規模。三菱地所が発注し、イチケンが設計・施工を担う。工期は23年4月5日～24年5月31日。

